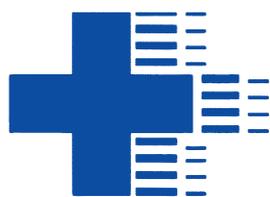


医療法人社団まりも会



# ヒロシマ平松病院

HIROSHIMA HIRAMATSU HOSPITAL

## 病院案内





# 患者さんのニーズに沿った安全で

## ごあいさつ



理事長  
**平松 廣夫**

日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会認定  
リウマチ医  
日本整形外科学会認定  
脊椎脊髄病医



会長  
**平松 恵一**

日本整形外科学会  
認定専門医



院長  
**高澤 篤之**

日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会  
スポーツ医  
日本整形外科学会  
脊椎脊髄病医



## 患者さん中心の医療を目指します

広島大学病院や県立広島病院をはじめとする公的医療機関と連携しつつ、急性期を中心に回復期や地域包括ケア病棟を有し、広島市南区を中心とした地域医療並びに広島都市圏における病院群輪番制病院として、整形外科及び外科の輪番を担当し、救急搬送患者の受け入れを積極的に行い、地域の救急医療にも貢献しています。

また、医療と介護の連携の観点から、当会の開設している訪問看護ステーション及び介護関連施設との連携はもとより、南区の在宅医療相談支援窓口として、地域に所在する医療機関や介護関連施設等とも緊密な連携を図り、広島県の地域医療構想に基づく、地域包括ケアシステムの確立も目指しています。

なお、医師及び歯科医師のみならず、看護師、理学療法士や作業療法士等のコメディカル職員が、それぞれの分野で研鑽を重ね、高度な医療技術や看護技術等々に基づくチーム医療を推進し、分野横断的な医療を引き続き提供します。

患者さんから、ここに来て良かったと言っただけのよう、職員一同努力いたしておりますので、何卒宜しくお願いいたします。



# 安心できるチーム医療を提供します

## 基本理念

私たちは思いやりとまごころをもって  
心身ともに癒される医療を提供します。

私たちは「地域で求められている医療サービスとは何か」を第一に考え、「いつでも、どこでも、誰でもが安心して受けられる医療」を理念に、保健・医療・福祉分野での総合的な事業を目指しています。

## 基本方針

- 日々医療の質の向上に努め、地域の救急医療に積極的に参加します。
- 患者さんの権利を尊重します。
- 患者さんに謙虚に耳を傾け、信頼される病院とします。
- 患者さんにやさしい施設環境を整えます。

## 沿革

昭和57年 医療法人社団まりも会 平松整形外科病院発足

平成11年 河石記念病院設立

平成18年 河石記念病院を八丁堀平松整形外科消化器科病院に改名

平成23年 上記2病院を統合してヒロシマ平松病院設立

岡山県ヒロシマ平松整形外科を無床診療所として再スタート

平成27年 サービス付き高齢者向け住宅「ケアホームひらまつ」

訪問介護事業所「サポートひらまつ」

訪問看護ステーション「サポートひらまつ」

デイサービス「サポートひらまつ」

居宅介護支援事業所「ひらまつ」

上記5事業所をヒロシマ平松病院に隣接して設立

岡山県ヒロシマ平松整形外科無床診療所を閉院

平成28年 ヒロシマ平松歯科口腔外科クリニックを設立

平成30年 通所リハビリテーション事業を開始

平成31年 3月末でヒロシマ平松歯科口腔外科クリニックを閉院

4月に歯科口腔外科を病院に編入

令和2年 5月に高澤篤之院長就任



## 病院概要

- 病床数…………… 161床 (一般病棟80床・地域包括ケア病棟 40床・回復期病棟 41床)
- 入院患者の平均在院日数…………… 一般病棟 約15日、地域包括ケア病棟 約22日、回復期病棟 約34日
- 手術室…………… 4室
- 手術件数…………… 年間1,779例(令和2年度)
- 救急搬送…………… 年間約602例(令和2年度)
- 時間外患者数…………… 年間約529人(令和2年度)
- 外来患者数…………… 年間約44,844人(令和2年度)

## 機能指定

- 保健医療機関
- 救急告示医療機関
- 労災保険指定医療機関
- 難病の患者に対する医療等に関する法律第14条第1項の規定による指定医療機関
- 生活保護法指定医療機関
- 被爆者一般疾病医療機関
- 指定自立支援医療機関(育成医療 更生医療)

## 連携医療機関

- 広島大学病院
- 広島市立広島市民病院
- 県立広島病院
- 広島赤十字・原爆病院

## 施設認定

- 日本整形外科学会認定研修施設
- 日本脊髄脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設
- 日本口腔外科学会准研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度関連施設
- 日本ストーマ・排泄rehabilitation学会ストーマ認定施設

## 施設基準

当院は、中国四国厚生局に次の施設基準の届出を行っています。

【医科】急性期一般入院料4・地域包括ケア病棟入院料1※ADL維持向上等体制加算を含む・回復期リハビリテーション病棟入院料1・救急医療管理加算・診療録管理体制加算2・医師事務作業補助体制加算1・急性期看護補助体制加算(25対1)・療養環境加算・看護職員夜間16対1配置加算1・医療安全対策加算2・感染防止対策加算2・入退院支援加算2・入院時支援加算・椎間板内酵素注入療法※当院は日本脊髄脊髄病学会認定施設・後発医薬品使用体制加算1・夜間休日救急搬送医学管理料・外来リハビリテーション診療料2・救急搬送看護体制加算・ニコチン依存症管理料・がん治療連携指導料・薬剤管理指導料・検体検査管理加算(I)・CT撮影及びMRI撮影・大腸CT撮影加算・無菌製剤処理料・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)・運動器リハビリテーション料(I)・呼吸器リハビリテーション料(I)・がん患者リハビリテーション料・廃用症候群リハビリテーション料I・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術・胃瘻造設術・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算・麻酔管理料(I)・外来化学療法加算2・データ提出加算1・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料・患者サポート体制充実加算・栄養サポートチーム加算・入院時食事療養(I)※ 管理栄養士または栄養士によって管理された食事を適時(夕食については午後6時以降)、適温で提供しています。

《保険外併用療養に係る項目》・特別の療養環境の提供(差額病床の料金は、別途院内表示)

《自由診療》・多血小板血漿抽出液による関節症治療、多血小板血漿を用いた靭帯・腱及び腱付着部の機能障害・疾患の治療、PRP-FD療法による関節治療

【歯科】クラウン・ブリッジ維持管理料・歯科口腔リハビリテーション料2・CAD/CAM冠・歯周組織再生誘導手術・地域歯科診療支援病院 歯科初診料・精密触覚機能検査・歯科外来診療環境体制加算2・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料・歯科疾患在宅療養管理料の注4に掲げる在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る)(歯科)

- ※ HMネット開示病院
- ※ 医学文献検索(メディカルオンライン)導入
- ※ 遠隔画像診断(ラドアシスト)導入
- ※ 電子書籍検索(イーブックスライブラリー)導入
- ※ Ai問診導入

## 臨床実習受入学校

医療スタッフを目指す学生の皆様の臨床実習施設として、毎年多くの実習生を受け入れています。

- 看護部…………… 広島市医師会看護専門学校 / 広島都市学園大学
- 薬剤部…………… 安田女子大学(早期体験学習)
- リハビリテーション部…………… 広島大学 / 広島都市学園大学 / 広島国際大学
- 事務部…………… 広島医療秘書こども専門学校 / トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校  
広島情報専門学校 / 広島YMCA専門学校 / 安田女子短期大学(広島県医師会学術課)  
山陽女子短期大学

## 救急医療体制

### 『断らない救急、地域によりそう救急、地域を守る救急』



広島二次医療圏(広島市域・府中町・海田町・熊野町・坂町等)における入院治療を必要とした重症救急患者に対応する二次救急医療を担い、地域に貢献すべく広島市医師会の実施する病院群輪番制に参加し、広域に渡り多くの救急患者を受け入れています。

現在おこなっている、月11回の整形外科輪番・月3回の外科輪番を継続し、救急搬送患者の応需率をさらに向上できるように積極的な貢献を目指しています。

#### 【病院群輪番制】

- 実施主体:広島市医師会
- 実施日:毎日夜間および休日昼間
- 実施区域:広島市域、府中町、海田町、熊野町、坂町、他
- 参加医療機関数:広島地区 27医療機関

## 南区在宅医療相談支援窓口

在宅医療の事業を継承し、南区における在宅療養患者の入院調整や医療機関からの在宅医療に関する相談に対応する窓口として、平成29年2月1日から運営しています。

在宅療養に関する相談があれば、いつでもお声かけください。



## 臨床研究

当院では、地域医療への貢献、患者さん中心の質の高い医療の実践を向上すべく、医師、看護師、理学療法士、作業療法士などさまざまな医療分野における臨床研究活動に積極的に取り組んでいます。

おもに「中国・四国ストーマリハビリテーション研究会」「中国ブロック理学療法士学会」「日本がんリハビリテーション研究会」「広島県病院学会」等で研究発表を行っており、優秀賞を受賞するなどの実績があります。

また、Webでの医学文献検索(メディカルオンライン)及び電子書籍検索(イーブックスライブラリー)を導入するなど、研究支援の充実を図っています。

## 院内委員会・会議

- 全科合同カンファレンス
- 各科カンファレンス
- 病床調整会議
- 医療安全委員会
- 院内感染委員会
- 給食委員会
- 手術室運営会議
- 外来連絡会議
- 医局会議
- 師長会議
- システム委員会
- 衛生委員会
- 広報委員会
- レセプト対策会議
- 連絡調整会議
- 経営会議
- NST委員会
- 輸血療法委員会

※サ高住運営会議関連施設・事業所との連携

## 診療科目

整形外科／外科／消化器外科／内視鏡外科(消化器)／脳神経外科  
 麻酔科(平松咲子、森脇克行)／内科／消化器内科／呼吸器内科／循環器内科  
 リウマチ科／リハビリテーション科／放射線科／呼吸器外科／形成外科／歯科口腔外科  
 膠原病リウマチ内科／婦人科

## 専門外来

### 脊椎脊髄センター

頸部痛、腰痛、手足のしびれ、および圧迫骨折など、脊椎・脊髄由来の疾患に対して手術を含めた診療を全般的に行っています。特に多い頸椎症性脊髄症、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアに対しては、薬物療法やリハビリ、手術用顕微鏡を用いた安全で低侵襲な手術まで幅広く行っています。



### リンパ浮腫専門外来

広島大学病院国際リンパ浮腫治療センターの光嶋センター長が診療を行っています。リンパ浮腫とは、リンパ管が障害されたり、機能が低下することによって、手足や顔などにむくみが起こる状態のことをいいます。外来診療だけでなく、リンパ管静脈吻合術、リンパ管移植術、脂肪組織除去術などの手術も行っています。



術前



術後

### そけい 鼠径ヘルニア専門外来

鼠径ヘルニアとはいわゆる脱腸のことで、太ももの付け根あたりに柔らかいふくらみができる病気です。初期段階では、手で押さえたりするとふくらみは消え、強い痛みなどはほとんどありませんが、放置しておくと痛みや違和感が出てきます。自然治癒はなく外科的手術が必要になります。当院では、腹腔鏡下手術をしており、約4～5日間の短期入院になります。



腹腔鏡下手術

## 肛門専門外来

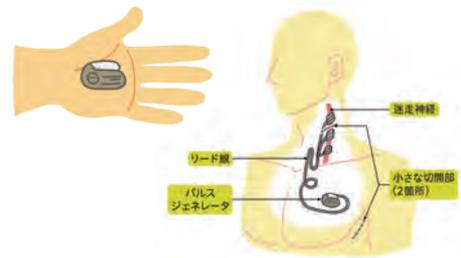
内痔核(いぼ痔)の治療の一つとして、ジオン注射(ALT A療法)を行っています。ジオン注射とは、メスで切らずに痔の部分に特殊な薬剤を注射する治療です。注射薬によって、痔核を固めて小さくし、脱出と出血症状を改善します。メスで切り取らないので、早期の回復が可能になります。



ジオン注射  
(四段階注射法)

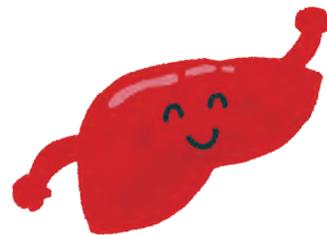
## 迷走神経刺激療法 (VNS) 専門外来

広島大学病院てんかんセンターの飯田センター長を中心に診療を行っています。迷走神経刺激療法とは、難治性てんかんに対して行う、左胸部に直径約5cmの刺激装置を植え込み、定期的に電気を送ることで、てんかん発作の回数を減らしたり軽減させる緩和治療をいいます。難治性てんかんの中で、開頭手術では発作のコントロールが難しいと予測される場合や、または開頭手術後に発作が残ってしまった場合が対象となります。当院では、植込み手術とその後の調整も行っています。



## 肝臓移植専門外来

肝臓移植手術をされた後の定期的な検査と相談を受けています。



## フロア案内

8F	屋上庭園			
4F	5F	6F	7F	4F・5F 一般病棟 / 6F 地域包括ケア病棟 / 7F 回復期リハビリテーション病棟
3F	手術室 / 内視鏡室 / 医局 / 薬局 / 看護部長室 / 管理事務室 / 診療情報管理室 / 図書室			
2F	リハビリテーション室 / 研修室 / コンビニエンスストア(ポプラ) / 厨房 / 療養病床食堂兼談話室 / 職員食堂			
1F	受付 / 診察室 / 救急室 / レントゲン室(MRI・CT・透視室) / 検査室 / 地域医療連携室 / 医療相談室 / 医事課 / 脳波検査室 / 処置室 / 管理事務分室(防災センター)			



2F ポプラ

2階エレベーター前のコンビニエンスストア「ポプラ」では、食料品だけでなく、日用雑貨や衛生材料の品揃えも充実しており、土・日も営業しています。なお、患者さんやご家族の方々にくつろいでいただけるようラウンジを隣接しています。



8F 屋上庭園

屋上庭園は、入院患者さんの気分転換や癒しの場としてだけでなく、リハビリ用のクッションフロアを敷いており、リハビリテーションの一環として利用できる場所になっています。

また、広島みなと夢花火大会日には、くつろいで鑑賞できるように椅子を用意します。



病院からの風景

## 併設施設(当院北側に隣接)

### 介護関連施設・事業所

●サービス付き高齢者向け住宅  
「ケアホームひらまつ」

TEL:082-250-8601  
FAX:082-256-3655

この住宅は、介護・医療と連携し、60歳以上(要介護認定若しくは要支援認定を受けている60歳未満の方を含む)の高齢者が安心して居住できるサービスを提供する賃貸住宅です。

また、この住宅内に右記の4事業所を併設し、充実した医療介護連携体制の構築により、入居者の生活をトータル的にサポートいたしますので、介護に関する問題等がありましたら、いつでもご相談ください。

●訪問介護事業所「サポートひらまつ」

TEL:082-250-8068  
FAX:082-256-3656

●居宅介護支援事業所「ひらまつ」

TEL:082-250-8062  
FAX:082-256-3656

●訪問看護ステーション「サポートひらまつ」

TEL:082-250-8063  
FAX:082-256-3656

●デイサービス「サポートひらまつ」

TEL:082-250-8069  
FAX:082-256-3657



## 手術室 3F

それぞれに特徴を持った4つの手術室を備えています。手術室1には開腹や開胸することなく行うことのできる内視鏡下手術のための最新の設備を揃えています。手術室2には整形外科、形成外科、消化器外科、呼吸器外科などのあらゆる手術に対応できる高性能の手術台を設置しています。全室清浄度クラスⅡを完備・維持し、コード類は天井懸架とするなど術者にとっても快適に手術を行えるようにするための工夫もしています。



### ▶ 腹腔鏡・胸腔鏡・関節鏡手術

内視鏡下手術とは、体に小さな穴を数箇所あけ、細長いカメラスコープと専用の手術器具(鉗子など)を体に挿入して、カメラが映し出した体の中をテレビモニターで見ながら遠隔操作で行う手術をいいます。体の中を見るカメラの種類によってお腹の場合は腹腔鏡下手術、胸の場合は胸腔鏡下手術、関節の場合は関節鏡下手術といえます。利点として、従来の手術方法と比べて**傷口が小さい・体にかかる負担が少ない・術後の回復が早い・術後の痛みが軽くなることが多い**などがあります。当院での主な症例としては、ソケイヘルニア、胆のう胆石症、急性胆のう炎、大腸癌、肺癌、肩腱板損傷、股関節唇損傷、膝半月板損傷、膝前十字靭帯損傷などに対して内視鏡下手術を行っています。

### ▶ 顕微鏡下手術

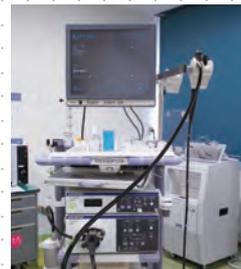
脊椎脊髄外科、超微小循環外科(リンパ浮腫治療)、血管・神経マイクロサージャリーでは、顕微鏡下で手術を行っています。



## 消化管内視鏡室 3F

通常、胃カメラといわれる上部消化管内視鏡検査と、大腸カメラといわれる下部消化管内視鏡検査を行っています。最新の内視鏡システムを導入し、検査だけでなく大腸ポリープ切除などの治療も行っています。

患者さんのご希望に応じて、鎮静剤を使用し、これまで「痛い」「苦しい」という思いをされた方でも、苦痛なく検査を受けていただけるようにしています。検査室ではBGMを流しており、リラックスして検査を受けていただけるよう心がけています。



## 検査 1F

### 【放射線検査】

- 一般X線撮影  
(無線式フラットパネルディテクタ)
- 透視撮影
- CT検査 (16列マルチスライスCT)
- MRI検査 (超電導型MRI ドーナツ型)
- 骨密度検査 (DEXA法)

### 【検体検査】

- 血液検査
- 尿検査

### 【生理機能検査】

- エコー検査
- 心電図検査
- 肺機能検査
- 体液量測定検査
- 動脈硬化スクリーニング検査
- サーモグラフィー検査
- 睡眠時無呼吸検査
- 脳波検査
- 神経伝達速度測定検査
- 神経知覚閾値検査



## 看護部

### ▶ 看護部理念と基本方針

医療従事者としての誇りを持ち、使命と役割を自覚し質の高い看護を提供します。

- ① 患者さん一人一人と向き合い、人格を尊重した思いやりのある看護を行います。
- ② 安心・安全な看護を行います。
- ③ 積極的に学習する意欲を持ち、自己能力の開発に努めます。
- ④ 健康で明るい職場作りを目指します。

### ▶ 看護部長あいさつ



看護部長・認定看護管理者  
川本ひとみ

ヒロシマ平松病院は、2021年3月で開設10周年になりました。  
今、医療を取り巻く環境は大きく変化し、当院が開設された頃よりも、更に、地域医療が推進されています。  
そうした中、職員は一丸となって地域に密着して、断らない医療、安全で安心できる専門性の高い医療の提供に努めています。  
看護部でも患者さんと真摯に向き合い、満足して頂ける看護の提供を常に心がけています。  
そして、基本方針に掲げるように、積極的に学習に取り組み自己能力の開発に努め、誰一人として置き去りにしない職場風土の中で、生き生きと働いています。

### ▶ 教育体制

- 新人教育**
- 新人看護職員研修ガイドラインに沿った新人教育
  - プリセプター・エルダー制で新人の教育・支援体制
  - ローテーション研修(一般病棟、回復期機能病棟、手術室、外来)の実施
  - 個人の進捗状況を把握しながら部署毎の教育
- 継続教育**
- 年間を通じて週1回の院内研修会を開催
  - ラダー別の研修会の開催
  - 院外研修会参加のための支援体制



### ▶ 院内・院外で活躍する看護師

**皮膚・排泄ケア認定看護師(河辺麻夕子)**  
褥創予防・ケア、ストーマ管理・相談、排尿に関するケアについてよりよい看護実践を、職員とともにしています。

**災害支援ナース**  
研修を受け、看護協会に登録された看護師が災害時に派遣されます。西日本豪雨災害時には、当院の災害支援ナースも派遣されました。

### ▶ ワーキンググループ・委員会

#### ワーキンググループ

- 化学療法WG
- ストーマケアチーム
- 摂食嚥下WG
- 認知症ケアWG
- ADL維持向上WG
- 入退院支援WG
- 排尿ケアチーム

ワーキンググループは多職種のメンバーで構成し、患者さんご家族のQOL(生活の質)を維持・向上するために、入院時から積極的に関わっています。安全で統一したケアを継続的に実施できるよう取り組んでいます。

#### 委員会

- 看護師長会議
- リスクマネジメント委員会
- 看護リーダミーティング
- 看護部感染対策委員会
- 看護部教育委員会
- 看護部業務委員会
- 看護部記録委員会
- 看護補助者ミーティング
- 褥瘡委員会

各委員会活動を通して、看護レベルの向上を目指し、安全で質の高い看護が提供できるよう努めています。

## リハビリテーション部

### ● 運動器リハビリテーション

骨・関節・筋肉・靭帯などに障害を受けた患者さんに対して、関節の動きや筋力の回復などの機能改善や日常生活に必要な動作練習を行います。

### ● 脳血管疾患等リハビリテーション

脳出血・脳梗塞などの脳血管疾患や脊髄症などの脊髄疾患の患者さんに対して、全身の運動機能の改善や日常生活に必要な動作練習を行います。

### ● 呼吸器リハビリテーション

肺炎や肺気腫などの呼吸器疾患の患者さんに対して、息切れを感じにくい生活を送ることを目的とした呼吸の練習や日常生活動作の工夫などを行います。

### ● がん患者リハビリテーション

がんの治療により身体機能の低下をきたした患者さんに対して、筋力トレーニングや持続的なトレーニングまたは日常生活に必要な動作練習を行います。

### ● 摂食機能療法

歯科口腔外科医師による嚥下機能評価の結果を元に、患者さんの嚥下機能の改善を目的とした口唇や舌の運動、発声練習、飲み込みの練習を行います。



リハビリ部では  
さまざまな  
リハビリを行っています

◆本院におけるリハビリテーションの実施は、院内2階のリハビリテーション治療室の外、隣接するサービス付き高齢者向け住宅「ケアホームひらまつ」の1階に通所リハビリテーション(介護保険適用)を併設して実施しています。

この他に以下の2つの介護サービスによるリハビリテーションに携わっています。

#### ● デイサービス「サポートひらまつ」

利用者の方の心身機能維持や生活機能向上を目的としたリハビリを行っています。

#### ● 訪問看護ステーション「サポートひらまつ」

利用者の方のご自宅へ赴き、生活環境に沿った動作の獲得や社会参加の向上を目的としたリハビリを行っています。

## ▶ 薬剤部



適切で安全な薬物治療が受けられるよう調剤だけでなく薬剤管理指導も実施しています。患者さん一人ひとりの状態を把握した上で、持参薬を含む服薬状況、飲み合わせ、アレルギー等の確認を行い、処方された薬剤を安心してご使用いただけるように薬剤説明を行っています。医薬品の情報提供や処方提案など医師や看護師と連携して効率的で安全な薬物治療を提供できるよう取り組んでいます。

## ▶ 臨床検査部



検体検査と生理機能検査を行っています。患者さんから採取した血液や尿などの検体検査では、迅速で正確な結果の提供を目指しています。患者さんに直接対応する心電図や脳波、肺機能検査などの生理機能検査では、安心してスムーズに検査を受けていただけるよう、検査前に必ず分かりやすくていねいな説明を実施しています。

## ▶ 臨床工学科



病院全体のさまざまな医療機器の管理を行っています。いつでも安心して使用できるように、また機器の性能が維持できるように点検・保守を行っています。人工呼吸器などが使用されている場合は、直接ベッドサイドへ行き、装置に異常がないか、安全に使用されているかなどを確認したり、装置の操作を行ったりします。安全性確保と有効性維持の担い手として、医師や看護師と協力してチーム医療をサポートしています。

## ▶ 放射線部



レントゲン、CT、MRI、透視検査、骨密度など最先端の医療機器を設備しています。無線式FDP(フラットパネルディテクタ)を採用し、スピーディーなレントゲン撮影が行えるため、患者さんの負担が大幅に軽減され、さらに待ち時間も短くなっています。撮影した画像は非常に高画質なので、的確な診断をすることが可能です。またCTやMRIを備えることで、救急医療体制を含め、幅広い分野において高度な医療を提供することができます。

## ▶ 栄養管理部



医師の治療方針のもと、患者さん一人ひとりに合わせた必要な栄養素の食事や、患者さんの状態に応じて、軟らかい食事、むせにくい食事などの提供をしています。食事を視覚でも楽しんでいただけるように、季節の行事食などの工夫をしています。また、治療に必要な食事や食生活における不安や疑問にお答えできるように、管理栄養士が栄養相談を行っています。

## ▶ 地域医療連携室



近隣の医療・福祉機関と連携をとり、患者さんの紹介または受入、転院相談などスムーズに診療が継続できるよう調整しています。また、退院に不安を持たれている患者さんやご家族に対して、医師、看護師、理学療法士やケアマネジャーなど様々な職種との連絡や調整を行い、安心して退院していただけるよう支援しています。ご要望や相談の窓口として、種々の問題に対応しています。

## 病院までのアクセス方法



### バス・電車でお越しの方

#### ■JR広島駅前～

- ① 広電バス 5号線 大学病院行 / 「大学病院入口」で下車(徒歩約10分)
- ② 広島バス 26-1号(旭町)線 / 「大学病院入口」で下車(徒歩約10分)
- ③ 広島バス 26号(旭町)線 / 「皆実町1丁目」で下車(すぐ横)
- ④ 広電電車 5号線 広島港行 / 「南区役所前」で下車(徒歩約5分)

#### ■JR横川駅前～県庁～八丁堀～

- ⑤ 広島バス 23号線 大学病院行 / 「皆実町1丁目」で下車(すぐ横)
- ⑥ 広島バス 23-1号線 大学病院行 / 「大学病院入口」で下車(徒歩約10分)

#### ■JR横川駅前～県庁～市役所～

- ⑦ 広電バス 7号線  
仁保車庫前行・向洋新町車庫行 / 「皆実町1丁目」で下車(すぐ横)

#### ■広島港～

- ⑧ 広電電車 5号線 広島駅行 / 「南区役所前」で下車(徒歩約5分)

### お車でお越しの方

#### P 駐車場について(立体駐車場20台)

- 当院は立体駐車場(病院玄関前)を用意しております。原則外来患者さん専用となります。
- 入院される方自身の駐車は禁止です。
- お見舞いの方は、近隣の駐車場をご利用下さい。(有料)

医療法人社団まりも会



ヒロシマ平松病院

【院長】高澤 篤之

〒732-0816 広島市南区比治山本町11-27

TEL 082-256-3650

FAX 082-256-3670

<http://www.marimokai.or.jp/>